

健和会病院 広報誌 2018年8月 発行

3号

社会医療法人 健和会

健 和 会 病 院

和田 浩 院長インタビュー

HPH 加盟

乳腺外来始動

各医師の受賞

外来診療体制表

編集・発行

健和会病院広報委員会

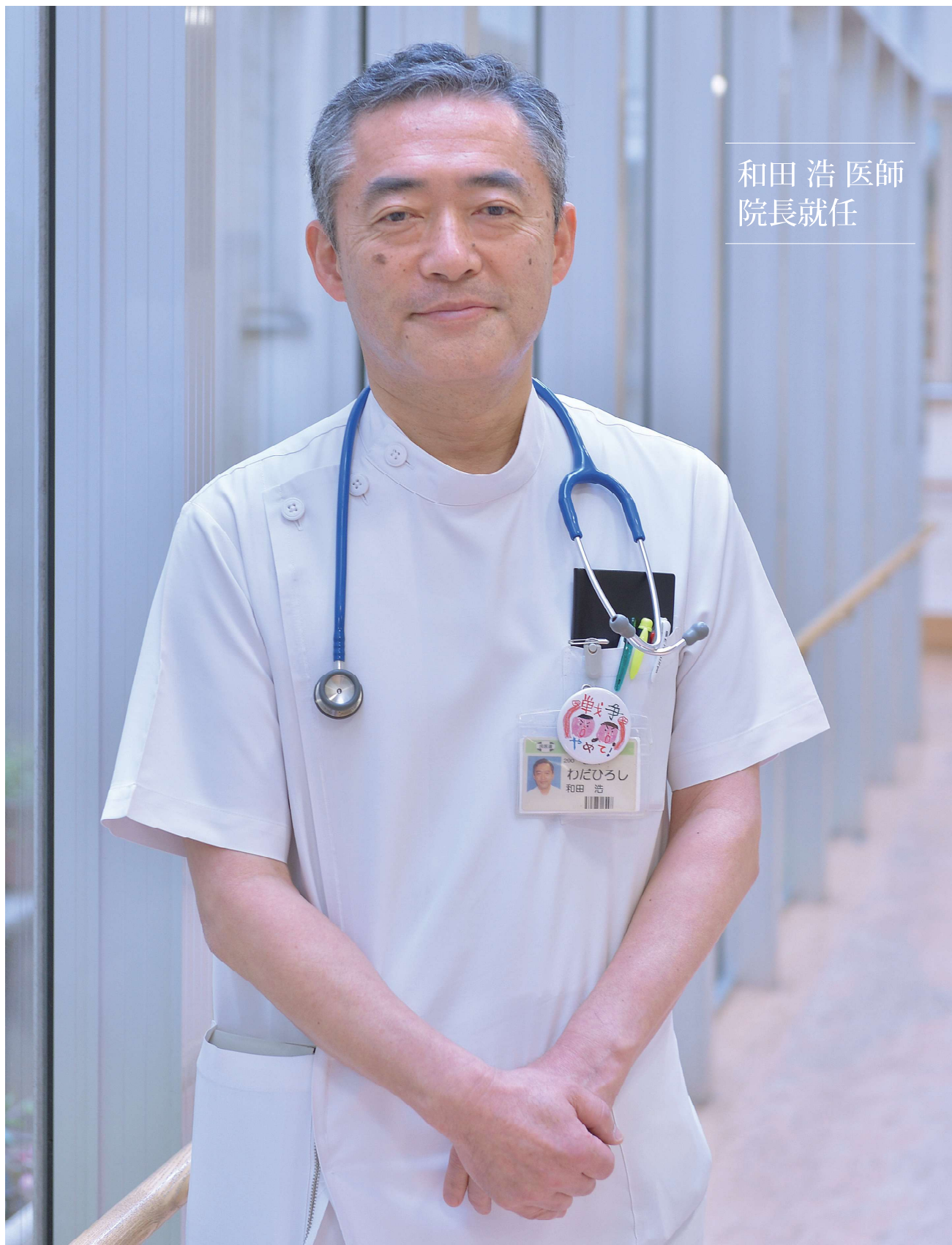
Kenwakai.or.jp

info@kenwakai.or.jp



ゆめかなえ

和田 浩 医師
院長就任





The Director of Kenwakai Hospital

**前副院長 和田 浩 医師が6月より院長に就任。
今後の病院展開等についてインタビューを行いました。**

病院として大切にしたいこと

―院長就任にあたっての抱負を。

和田：先日参加した院長研修会で『病院経営は厳しい』とずっと言ってきたが、これからが一番厳しい」という話がありました。確かにそうなのだろうと思います。当院もどう経営していくか、色々な面から考えないといけないのですが、カギになるのは職員がどれだけやりがいを感じられるかだと思います。職員はものすごくがんばっているのですが、院内で共有されていないところが問題だと思います。ひとりひとりのがんばりをお互いに知ってすることで、大変な中でもやりがいを感じ、職場に誇りを持てるのではないかと思います。

「病院機能評価」の際に理念を職員が言えるようにしたりしますが、大事なことは抽象的な文言を暗記していることではなく「うちではこんな取り組みをしています。そういう医療・介護を目指す病院です」と具体的に語れることだと思うんです。それは患者さんに接する際にも生きてきますよね。

地域連携を強化

―今後の健和会病院の展開を教えてください。

和田：飯田下伊那は、連携が非常にうまくいっている地域だし、その中での当院の役割も明確だと思います。ケアミックスで、急性期からリハビリ・慢性期・在宅までみることができる病院としてやっていくという方向は、これまでとかわらない。ただ、地域の先生方と患者さんを紹介・逆紹介する関係をもっと強化することと、実績や特徴を明確にアピールしていく必要があると思います。

たとえば、この6月には福村直毅医師が日本リハビリテーション医学会の年間最優秀論文賞、小林奈津子医師が日本超音波医学会の奨励賞、一昨年には塚平俊久医師が日本ヘリコバクター学会の優秀賞を受賞しました。地方の中小病院でも全国・世界レベルの発信ができることを示していると思います。

先日HPHの認定を受けました。これは、前院長の牛山先生が力を入れていたことですが、地域の健康増進活動を、今後さらに力を入れていきたいと思っています。

「無料・低額診療事業」をしている飯伊で唯一の病院で

あることや差額ベッド料を取らないことも、あまり知られていないと思います。格差と貧困の広がる中で、経済的困難を抱えた方たちの健康を守るという点も堅持していきたいですね。

―小児科医としての取り組みについて教えてください。

和田：小児の患者数は全国的に減っており、当院も同様なのですが、食物アレルギー・発達障害・心の問題・子育て支援といったことが大きな比重を占めるようになってきました。こうしたことはいい対応が必要で、時間がかかります。でも、今までたくさんの子どもをこなさなくてはいけなかったのが、本来あるべき姿に近づいたともいえると思います。

力を入れてきたことのひとつは、公民館の母親学級などでのワークショップです。お母さんたちの心配事をまず少人数グループで出し合ってもらい、それに対して私が説明



したりお母さん同士で話し合ったりします。「悩んでいるのは私だけじゃないとわかってホッとした」という感想が出るんですが、個々の知識を提供することよりもそう感じてもらえることが大事だと思います。

貧困が健康に大きな影響を及ぼす

—子どもの貧困問題では全国的に活躍されていますね。

和田：2010年から外来小児科学会でワークショップを始め、2015年から「貧困と子どもの健康シンポジウム」を年1回開催し、2016年に「日本外来小児科学会子どもの貧困問題検討会」の代表世話人になりました。貧困が健康に大きな影響を及ぼすことが明らかになっています。私たちはそういうことも視野に入れて行かないと患者さんの健康は守れないと思います。



毎週金曜日朝に開催される和田院長主催の貧困問題学習会。この日は、貧困と歯科の関係について討議した。

地域から信頼されてこそ可能な臨床実習

—医学教育にも取り組んでいますね。

和田：大学の实習で、4週間医学生が小児科外来で実際に患者さんの診察をする実習を今までに3人受け入れました。小児科外来として日本で初めてだと思います。医学教育では今「診療参加型実習」が強調されています。見学だけでなく、実際に患者さんの話を聞き所見をとることを通じて臨床能力が身につくわけで、それは医学生でも十分できます。医学教育学会理事長の鈴木康之先生からは「先生のように指導医が地域から信頼されていないとできない」と評価していただきましたが、地域で長くやっていることで信頼関係ができ、学生の診察もやらせてもらえる。それは私たちのような地域の中小病院とか開業医だからこそできる医学教育ではないかと思っています。

—落語がお好きだとか。

和田：好きですねえ。長女が伊賀良落語会のメンバーということもあってよく行きます。立川志の輔なんて東京ではなかなかチケットも取れない人の話が、1-2年に1回確実に聞けるなんて幸せですよ。この時ばかりは最優先で必ず予定を開けます。

What's News

HPH/health promotion

健和会病院は、5月より健康増進活動拠点病
患者・地域・病院職員がともに健康づくりに



What's News

Mammography

乳腺外来始動。毎月第3月曜日、女性技師の

2018年4月、当院では「乳腺外来」を始めました。担当する本田晴康医師・赤澤智之医師（いずれも外科）はマンモグラフィー読影技術認定医です。

詳細な問診、乳腺エコー・マンモグラフィー、医師による診察を行います。乳腺吸引細胞診による精査、手術にも対応しています。定期検診のほかセカンドオピニオンも受診できます。

なお、乳腺エコー・マンモグラフィーは女性技師が担当

g hospital

院 (HPH) へ加盟
取り組みます

HPHとは、Health Promoting Hospital(健康増進活動拠点病院)の略で、ヘルスプロモーションを実践するためにWHOが始めた国際的な病院ネットワークです。ヘルスプロモーションは、「自らの健康とその決定要因をコントロールする能力を高め、自らの健康を改善できるようにするプロセス」と定義されています。健和会病院はHPHへの加盟準備として、患者、地域住民、病院スタッフの三者に対しヘルスプロモーションを働きかけてきました。ヘルスプロモーションにおいては、健康を阻害する要因(SDH)に気づき、改善する取り組み(社会的処方)をすることが期待されています。SDH(健康の社会的決定要因: Social Determinants of Health)は、WHOが示した概念で、貧困、失業、文化、性別、住居、ストレスなど健康に影響を及ぼし、健康格差をもたらす社会経済的要因のことです。

健和会病院は5月22日付けで、全国の病院で50番目、県内では上伊那生協病院、佐久総合病院、松本協立病院に次いで4番目にHPH登録されました。

HPHの取り組みとして、①患者さんに対しては、SDHを入院時にスクリーニングし、カンファレンスで検討する仕組みづくりや、無料低額診療事業の活用と周知を行ってきました。②地域住民の健康づくりでは、大型スーパー店舗内、やまびこマーチでの体力測定と健康寿命を延ばす為の運動指導を行っています。自分と家族の健康を守り、安心

して住み続けられる街づくりのために健和会と一緒に医療・福祉を良くする活動に取り組んでいる伊那谷健康友の会(会員約一万人)と連携して、地域の文化祭でも体力測定に取り組んできました。友の会では、職員も参加し毎月90班弱で班会を開催し、健康チェック・健康学習・交流を行っていますが、班会に参加すること自体に健康増進効果があることが先行研究で示されています。③職員に向けた活動では、健康診断時に体力測定を行うほか、健診結果説明会、歩数イベント、サラダバー企画を行っています。

今後も、HPH活動を通じて、子どもから高齢者まで幅広い年代を対象に健康増進に取り組み、健康格差のない、住民同士のつながりがある地域づくりを目指します。



4月28日(土)・29日(日)第32回飯田やまびこマーチ
健和会病院では健康チェックブースを開設し、多くの参加者に健康づくりとヘルスプロモーションホスピタル(HPH)をアピールしました。

みが担当。

しますので、どの年齢層の方にも安心して検査を受診できます。

乳腺外来は第3月曜日午後です。基本的に事前予約制ですが、当日の電話予約も可能です。乳がんの生存率・予後の改善には、早期発見・早期治療が欠かせません。患者さまが不安があったり、早めの対応が必要な場合には、ぜひ当院の乳腺外来へご相談・ご紹介ください。



乳腺外来

第3週の月曜日 午後
予約センター TEL.0265-23-3115(代表)

What's News AWARDS

福村 直毅 医師 日本リハビリテーション医学会学会誌 最優秀論文賞受賞



2018年6月28日
第55回日本リハビリテーション医学会学術集会にて
【福岡国際会議場】

「回復期リハビリテーション病棟において、補中益気湯は脳血管障害後遺症患者の炎症性合併症発症率を抑制する—多施設ランダム化比較試験による検討—」(Jpn J Rehabil Med 2017;54:303-314)

—福村先生という「嚥下」のイメージなのですが…。

福村：回復期リハ病棟の患者さんは、様々な合併症を起します。それがコントロールできないとリハビリもうまくできないわけです。合併症で多いのはまず肺炎。これは嚥下の問題をクリアすることでかなり減らせました。次が胆嚢炎・膀胱炎などですが、補中益気湯で、こうした炎症性合併症を減らすことができるということを示すことができました。

—非常に高い評価がされたんですね。

福村：ある大学教授からは「まっとうな研究だ」と言われました。始めてから8年かかっているんですが、大学では研究費を取ってやると年限が限られるのでこれだけ長いスパンでの研究はできないそうです。

—授賞式はどうでしたか。

福村：妻と父も一緒に行ったんです。めったにほめることのない父が「よかった」と言ってくれたり、妻の方が感動したり、ばく以上に家族にとってよかったなと思いました。

福村医師 嚥下外来のご案内

毎週火曜日午後
予約センター TEL.0265-23-3115(代表)

小林 奈津子 医師 日本超音波医学会 奨励賞受賞



2018年6月8日
日本超音波医学会第91回学術集会にて
【神戸国際会議場】

「Ultrasound-guided Attenuation Parameterを用いた肝脂肪量の定量～MRIとの比較～」

—受賞の経緯について教えてください。

小林：専門研修にいていた大垣市民病院でのデータでの発表だったんですが、奨励賞を取れる演題だということで、その賞が「40歳以下の若手奨励賞」なんです。で、40歳以下で超音波学会に入っているのが私だけだったので、どうかと言われて。私はそのことを勉強して発表したというだけなんです。学会では奨励賞セッションというのがあって、発表8分質疑が10分。4人の審査員が目の前で聞いていて、その先生方からの質問に答えるんですけど、それはもう本当に緊張したし、大変でした…。消化器部門では3演題の発表があって、その中から1つ選ばれたんです。

—どういう研究なのでしょう。

小林：肝臓の脂肪化の定量をエコーでできるようにするというもので、今までエコーでは肝腎コントラストを見るくらいだったんですが、減衰係数をはかるソフトが開発されて、エコーのGEというメーカーと一緒に研究したというものです。MRIでも脂肪化が定量できるので、それと比較したんです。まだ特殊な検査ですが、今後臨床で非常に有用な検査になっていくと思います。

小林医師 消化器内科のご案内

毎週木曜日午前
予約センター TEL.0265-23-3115(代表)

健和会病院 外来診療体制表

科目			曜日	月	火	水	木	金	土
内 科	午前	当日受付①	小林 奈津子 (消化器内科)	牧 内 雅 信 (循環器内科)	坂 口 典 子	関 口 恭 弘 (消化器内科)	塚 平 俊 久 (消化器内科)		交 代 制
		当日受付②	伊 壺 友 希	伊 壺 友 希	平 林 直 章	八 木 ひかる	八 木 ひかる		
		当日受付③	牛 山 雅 夫 (神経内科)	鷺 見 順 教		倉 橋 眞 理	牧 上 久 仁子		
		当日受付④					倉 橋 眞 理		
		予 約 診 療	牛 山 雅 夫 塚 平 俊 久 倉 橋 眞 理	関 口 恭 弘 平 林 直 章	北 原 明 倫 塚 平 俊 久 関 口 恭 弘 牛 山 雅 夫	北 原 明 倫 牛 山 雅 夫 小 林 奈 津子 塚 平 俊 久	牛 山 雅 夫 伊 壺 友 希 横 田 昌 鷺 見 順 教		
	午後	予 約 診 療	熊 谷 悦 子 伊 壺 友 希	熊 谷 悦 子 牛 山 雅 夫	熊 谷 悦 子 北 原 明 倫 坂 口 (信 大)	伊 壺 友 希			
	夜間	予 約 診 療			清 水 (第 2 週)		塚 平・熊谷(第1週)		
循 環 器	午前	予 約 診 療			牧 内 雅 信	牧 内 雅 信	牧 内 雅 信	清 水 (第 4 週)	
	午後	予 約 診 療			清 水 信 明				
C K D	午後	予 約 診 療		熊 谷 (CAPD)	熊 谷 悦 子				
嚥 下	午後	予 約 診 療		福 村 直 毅					
整形外科	午前	予 約 診 療	平 林 直 章						
もの忘れ	午前	予 約 診 療				牛 山 雅 夫 (神経内科)			
	午後	予 約 診 療	北 原 正 和						
精 神 科	午前	予 約 診 療			服 部 美 秀				服 部 (月1回)
	午後	予 約 診 療			服 部 美 秀				
脳 外 科	午前	予 約 診 療		北 原 正 和		北原 (第1・3・5週)	北 原 正 和		
	午後	予 約 診 療		北原 (第1・3・5週)		北 原 正 和			
外 科		当日受付	本 田 晴 康	赤 澤 智 之	川 田 崇 雄	川 田 崇 雄	津 澤 豊 一	熊 谷 / 川 田	
	午前	予 約 診 療	熊 谷 嘉 隆	本 田 晴 康	熊谷 (振動病:第3週)	津 澤 豊 一	赤 澤 智 之	本 田 (第 4 週)	
				熊谷 (第2・4・5週)	熊谷 (第2・4・5週)	熊 谷 (第3・5週)			
	午後	予 約 診 療	熊 谷 (第2・4週)	熊 谷 嘉 隆		熊 谷 (第2・4週)			
肛門外来	午後	予 約 診 療					本 田 (第2・4週)		
乳腺外来	午後	予 約 診 療	本 田 (第 4 週) 赤 澤 (第 4 週)						
泌尿器科	午前		熊 崎 匠	熊 崎 匠		熊 崎 匠	熊 崎 匠	熊 崎 匠	
形成外科	午前	予 約 診 療	矢 高 森 人				矢 高 森 人		
	午後	予 約 診 療		矢 高 森 人	矢 高 森 人				
小 児 科	午前		和 田 浩	和 田 浩	和 田 / 鷺 見	和 田 浩	和 田 浩	和 田 / [休診]	
	午後		和 田 浩				和 田 浩		
禁煙外来	午前					八 木 ひかる			

社会医療法人 健和会

〒395-8522 長野県飯田市鼎中平 1936



健 和 会 病 院

● 病院受付 TEL.0265-23-3115 FAX.0265-23-3129
● 地域連携室 TEL.0265-23-3269 FAX.0265-23-3198

